

# 会 議 記 録

作成部局課名 塩田地域自治センター

開催日	平成 20 年 11 月 21 日(金)	開催時刻	13 時 30 分から 16 時 30 分
会議名	塩田地域協議会(平成 20 年度第 9 回)		
出席者	委員 18 名(欠席委員 2 名)		
事務局 出席者	出席職員 神林センター長 古川センター長補佐兼庶務企画係長 伴塩田公民館社会教育指導員		

## 会議次第

- 1 開会 (塩田地域自治センター長)
- 2 会長あいさつ (大口会長)

概 略 新委員による協議会は、8 ヶ月が過ぎあわただしい時期を迎えるようになった。協議会は、建設的な意見が多く出され良い形で動いている。地域自治センター整備事業については、協議のうえ意見書を提出し市からの説明を求めたい。十分議論し調整やまとめを行い、塩田地区の発展のために協議会があるので、忌憚のない意見をお願いしたい。

## 3 報告事項

- (1) 上田市都市計画マスタープランの成案について(担当課：塩田地域自治センター)

### 説明要旨 (塩田地域自治センター)

都市計画マスタープランの成案は、年度内にまとめる予定でしたが、「都市計画区域の見直し」の方針について、更なる検討や住民理解が必要であるとの判断から成案作成時期を延期することとなった。

- (2) わがまち魅力アップ応援事業進捗状況について(担当課：塩田地域自治センター)

### 説明要旨 (塩田地域自治センター)

- ・ 採択条件の「多数の参加とし、地域振興・まちづくりを図ることができる事業とすること」について、映画というツールを利用し商業者や住民との連携により地域振興の一助としたい。例：およう、たそがれ清兵衛、卓球温泉及び檜山節孝の上映など
- ・ 採択条件の「事業実施にあたっては、地域の関係団体と連携、協力すること」について、実行委員会の構成メンバーには地元自治会のほか別所線電車存続期成同盟会、上田電鉄や長野大学などに加入してもらっている。
- ・ 採択条件の「事業の継続性の確保」について、次年度以降の取り組みとしてロケ地マップの作成、写真コンテストの実施、ロケ地ツアーの実施、ロケ地にちなんだオリジナル料理の作成や活用などを考えている。

主な質疑・意見

- ・ 別所線電車存続期成同盟会も実行委員となっているので、別所線の利用をお願いしたい。
- ・ 多団体との連携ということで、旅館組合の青年部もがんばっているのでサポートしていきたい。
- ・ 地域全体で支援していきたいので協力をお願いします。

(3) 学校支援地域本部事業について（担当課：塩田公民館）

説明要旨（塩田公民館）

- ・ 10月24日に運営委員会を開催し11月には授業参観を予定している。
- ・ 運営委員会は、地域の中に作られた「学校応援団」のようなものである。
- ・ 現在は、核家族化が進んでおり先生や保護者が孤独のうえ、子どもも孤独な状態である。
- ・ 地域や家庭の教育力が低下しているのではなく、孤独な状態である。
- ・ 学校の希望や要望としては、地域へ投げかける中で学習支援と環境整備をお願いしたい。
- ・ 学習支援にあっては、1年生に問題を抱える生徒が多く、500点満点で100点未満が、通常は5~6人いるところが今年度は20人いる。
- ・ 例としては、九九やローマ字からつまずき、授業を邪魔したり校外へ出て行ってしまう状況である。
- ・ 学習支援のパターンとしては、固定や単発があると思うがいずれもテープ式のカリキュラムとなるので、ボランティア支援に日時を明確に出来ない。
- ・ 校内には、ボランティア本部を設置し、学習支援や環境整備ボランティアの詰所となる。
- ・ ボランティアの募集は、公民館だより1月16日号で周知する。

主な質疑

- ・ 授業は、一週間の総授業数をほぼ均等になるようにテープ状にし、順番に授業していくものである。
- ・ 学習支援は、説明のとおり孤独から救うことだと思う。問題を抱える生徒はいると思うが、1時間1時間の充実した授業が大切であり先生は苦慮していると思う。ボランティアは、時間に余裕のある人に限られると思う。
- ・ 学校評議員会は、各学期に1回くらい開催されている。委員は、自治会連合会の代表、教員経験者や各種団体役員などで構成されており、学校と連携して活動を行っている。
- ・ 生徒の孤独は、いきなりなるのではなく小学校との連携が必要であり、原因部分から考えたらどうだろうか。
- ・ 新聞などによると生徒の孤独は、小学校低学年から出るといわれており、親が十分な教育ができていないとしている。例としては、小学校低学年の言葉遣いがおかしいなど。
- ・ 家庭教育において、親がだめだからすぐ地域での教育とはならないが、みんなで育てることが重要である。学校教育だけでなく生涯学習としての意義がある。
- ・ 幼、保、小、中連絡会が重要で、小さい頃に起因している例が多い。

- ・ 若い母親は、生活能力はあるといわれるものの、教育する能力がないと言われている。塩田地域は、自分たちの周りのことは自分たちで何とかするとしていきたい。
- ・ 学校支援地域本部事業運営委員は、どのような構成となっているのか。
- ・ テープ方式にしても固定式にしても、行事があれば授業ができないので土日に行事をやることは考えられないものか。上田女子短大は、つぶれた分を土日にやっており、このように考えないと地域で理解してもらえないと思う。
- ・ 学校によっては、曜日ごとに入れ替わる授業となることもある。
- ・ 柔軟性を持たせる授業は、学級規模などによってなかなか難しい。県教委の方針があり難しい面がある。年間授業日数は、小学校が 210 日前後、中学校が 223 日前後となっているが、教職員組合等との関係もあり難しい。
- ・ 九九のできない子どもをどうするのか。地域へ協力を求めていくことなのか。
- ・ 我々は、スパルタ教育で育ったが、支援事業の原因を追究していかないといけない。原因を掘り下げて検討すべきで、よい学校に学ぶ努力が必要であり根本を見極めないといけない。子どもの自主性が生まれるような環境や教育が必要である。
- ・ 学校長から、我々には対応できない部分があるので、力を貸して欲しいといってもらいたい。
- ・ 教える側と教わる側の立場の明確化が重要である。(立場をわきまえる)
- ・ 少人数個別コースとの区別が見えてこない。

#### 主な回答

- ・ 学校支援地域本部事業の運営委員構成は、地域協議会代表、学校評議員代表、社会教育委員代表、学校長、自治会連合会代表、PTA代表、住民代表、農業バイオセンター、長野大学代表、少年補導委員代表、市民団体代表及びコーディネーターとなっている。
- ・ 今後の予定としては、校内におけるボランティア活動拠点整備(1月中)、ボランティア募集及び講習会(年度内)、第3回運営委員会(12月)など
- ・ 文部科学省のパンフレットには、野田市のサタデースクールの事例が掲載されており、学校の希望や要望を地域へ協力依頼することを考えている。
- ・ 先生が、授業中に九九のできない子に掛かりつきりになれば、他の子どもの授業ができなくなる。九九のできない子への支援が必要である。
- ・ 授業の問題としては、子どもたちがどうしたいのかという子どもの気持ちの入っていない授業が多いことが問題である。話を聞いてもらいたい時に、「黙っている」と言われる家庭で育っている子どももいる。先生は一生懸命やっていると思う。
- ・ 習熟度別クラスとしたいが、対象者が多すぎてできない実態がある。九九や百マス計算などを主とした基礎コース制度を考えているが、子どもが望むかどうか難しく制度が安定していない。
- ・ いじめによりクラスに入れない子どももあり、ボランティアの支援が必要となる。

#### 4 協議事項

##### (1) 塩田地域自治センター整備事業について（担当課：事務局）

###### 主な質疑

- ・ 自治センターの外壁は、養蚕をイメージしたもので天窓は開閉式のを希望する。また、飲み物の自動販売機は、マイカップ対応のを希望する。
- ・ 上野が丘公民館は、少し安っぽい建物と感じたので、図書の充実とローテーションを希望する。（子どもたちが学校帰りに本を読むように）
- ・ 駐車場を広くし、働く人が働きやすい環境を望む。
- ・ 文化財保護協会からも言われているが、古い文書も多いので文書庫の設置をお願いしたい。
- ・ エントランスホールは広くし、歴史や文化に関する図書を並べて欲しい。飲み物の自動販売機は、自治センター入り口部分に設置し、マイカップ対応のを希望する。公民館では、利用者が春・秋清掃作業を行っており、環境整備を行いたいと思っている。
- ・ 上野が丘公民館の視察を受け、火災防止のため陶芸用の釜は建物の外へ出したほうがよい。
- ・ 住民が、施設へ気楽に立ち寄れるように清掃は、住民ボランティアとして協力したい。また、妊婦の拠り所となるようなイベントの開催を希望する。
- ・ 塩田らしい外観を希望するが、独鈷山がどこに入ってくるかイメージがつかめない。商議所支所や土地改良区は広すぎはしないか。（計画スペース必要か）
- ・ 計画では、職員数少なすぎて負担が重い気がする。トイレの数が少ない。
- ・ 施設は、コミュニティーの核となって欲しい。
- ・ 新たな施設は、時代の変化に対応できる施設であって欲しい。イベント広場は、憩いの場であり利用価値の高い駐車場など、臨機応変に使えるようにしてもらいたい。トイレの数が少ない。
- ・ 施設の外壁には、原田泰治氏の絵が欲しい。ホールデザインに独鈷山を描きたい。（独鈷ホール）施設近くには、駐車場も欲しいがどちらかといえば憩いの場が欲しく、植栽や花壇などを作らない第2・第3駐車場が欲しい。観光トイレには、パンフレットを置くなどおもてなしの玄関としたい。
- ・ 地域の希望が、取り入れられてきてはいるがトイレの数が少ない。
- ・ 一部要望が、取り入れられていないが理解する。子ども広場は、大人の目の届くところに設置しているのでこの計画でよい。
- ・ 外トイレの設置にあたっては、目隠しが必要に思う。
- ・ 植栽は、四季を感じられるようなものをお願いしたい。
- ・ ステージ横控室への通路の確保、料理実習室への外からの入口設置、施設入口付近の看板の設置などを希望する。
- ・ 陶芸棟は、母子健康センターの方へ設置してはどうか。
- ・ 第2駐車場から最短距離で敷地に入る人がいるので、出入り口付近の対応をお願いしたい。
- ・ 備品など準備は、どのように考えているのか。
- ・ 喫煙者への配慮をお願いしたい。

#### 主な回答

- ・ 駐車場については、イベント広場の一部も駐車は可能となり、将来は母子健康センター敷地を第2駐車場と計画している。
- ・ 商議所支所や土地改良区の事務スペースは、関係者との協議に基づいて計画しており当初計画で進めたい。
- ・ 古い文書等の保管にあっては、当面会議室等を活用するなどきちんと保管することとしている。
- ・ トイレの数を増設するとなると、学習室等の面積を少なくし設置することとなる。
- ・ 陶芸棟の設置は、施設の安全性を確保することから自治センター敷地への設置としたい。
- ・ 備品については、机や椅子など全体的に統一していきたい。折りたたみ机は、使用せず軽量椅子の使用やホワイトボードなど必要なものを揃えていきたい。
- ・ 市は、喫煙場所を屋外に設置することとしており、出入口付近にスペースを確保することとしている。
- ・ 意見書は、全体表現とし詳細については口頭による伝える。
  - ・ 敷地隣接者への配慮（分団詰所）
  - ・ 利用者の安心、安全の確保（横断歩道、トイレ、図書コーナー、イベント広場等）
  - ・ イベント広場の活用（駐車場、植栽、利活用の方法等）

#### (2) その他（担当：事務局）

##### その他

- ・ 上田・青木世界遺産登録を目指す市民の会は、会の解散に伴う運営資金処理において、上田市分残金約 21 万円余を文化財保護に役立ててもらうため市へ寄付した。
- ・ 西塩田地区営農活性化推進組合活動報告
- ・ 上田青木地区田園整備事業コア施設安全祈願祭報告（H21 秋完成予定）

#### 5 その他

次回 12月26日（金） 午後1時30分から3時30分 塩田公民館ホール

#### 6 閉会